

## 生成A Iの導入及び生成A Iの利活用に関する 連携協定締結について

### 1 概要

近年、生成A Iに関する技術は急速に進化しており、文案の作成、議事録の要約、問い合わせ対応など、自治体業務においても活用が期待されており、限られた人員と予算の中で、より多くの成果を出すための強力な支援ツールと言われております。

本市においても、生成A Iの利用に関するガイドラインを策定のうえ、10月より業務用パソコンから利用できる生成A Iを導入します（ガイドライン概要は別紙のとおり）。

また、生成A Iの利活用を推進するため、株式会社HBA様と連携協定を締結し、課題や効率化などの検証やノウハウの共有を行ってまいります。

### 2 利用できる生成A Iサービス

サービス名	特徴
Microsoft 365 Copilot Chat	<ul style="list-style-type: none"><li>・無償</li><li>・最新のGPT-5モデルが利用可能</li><li>・画像の生成が可能</li></ul>
LGC-GEAR	<ul style="list-style-type: none"><li>・有償（連携協定により令和8年11月末まで無償で利用可能）</li><li>・GPT-4oモデルが利用可能</li><li>・既存の業務資料等を参照して回答を生成する機能（RAG）が利用可能</li></ul>

※いずれも市内ネットワークに接続されている業務用パソコンから利用可能

### 3 連携協定について

<協定締結者>

小樽市と株式会社HBA

<協定期間>

令和7年9月25日から令和9年3月31日まで

<協定締結の目的>

生成A Iの活用について、相互に緊密な連携を図って協力し、本市のDX推進に資す

ること。

<連携事項>

- (1) 生成 A I を活用した行政事務効率化の推進に関すること
- (2) 生成 A I の活用スキル向上に関すること
- (3) その他本協定の目的を達成するために必要と合意した事項に関すること

4 詳しくは市ホームページをご覧ください。

(トップ → 組織から探す → 総合政策部 → デジタル推進室)

【問合せ先】小樽市総合政策部デジタル推進室 電話 0134-32-4111 内線 471

## 小樽市生成 AI 利活用ガイドライン（概要）

### 目的（第 1 章）

生成 AI の特性を理解し、業務効率化や市民サービス向上の可能性と情報漏洩・著作権侵害などのリスクを踏まえ、業務での適切な利用を促進するための指針。

### 対象（第 2 章）

対象 AI : Microsoft 365 Copilot Chat（無償版）

LGC-GEAR（株）HBA との連携協定により R7.10～R8.11 まで無償利用可能）

対象職員：業務で生成 AI を利用するすべての職員（利用申請が必要）。

改訂方針：技術や社会情勢の変化に応じて随時更新。

### メリットとリスク（第 3 章）

#### メリット

業務効率化・人的負担軽減

市民対応の質向上（FAQ、チャットボット、多言語対応など）

政策立案・分析支援の強化

#### リスク

ハルシネーション（不正確な回答）

著作権侵害（既存著作物との類似性）

情報漏洩（入力データの学習・流出）

人権侵害（差別・誹謗中傷の可能性）

### 利用条件（第 4 章）

利用申請：所定の研修を受講し、所属長の承認を得たうえで利用を申請。

利用実態調査：月 1 回程度のアンケートに協力。

### 利用ルール（第 5 章）

個人情報・機密情報の入力の禁止

著作権侵害につながる入力の禁止

出力内容の正確性の確認

権利侵害等の確認

加筆・修正の義務

情報セキュリティポリシーの遵守